

生徒自治会 通史

1998年度～2018年度（『第一世紀』に収録されていない部分、ただし未調査の1997年度と筆者卒業後の2019・2020年度を除く）の生徒自治会について年度別に記載する。なお、事象の羅列が多数を占めるという内容の特性により、一部を箇条書きで記載する。

1998年度

主担：仲谷（社会） ～1999年度

- ・前期執行部に対して、石鹸の設置、牛乳パックの学校回収、授業中に下にカットシャツを着ていない時の上着着脱の自由化を求める提案があった。
- ・厚生委員会が制服・騒音についてのアンケートを実施し、冬の制服の体温調整がしにくいことがあるかという質問に半数弱、夏の制服の校章がつけにくいという質問に78%が「はい」と答えた。
- ・原価の上昇により缶ジュースを110円から120円に値上げしたいと食堂から申請があり、議会はこれに反対した。その後どうなったかは不明である。
- ・庶務委員の手違いにより、この年の岸高祭のポスターに「51st」ではなく「51th」と表記されている部分があった。
- ・教師からアトラクションコンサート（岸高祭の前日に行われていた自治会主催コンサート）は準備の支障になるとの意見があった。

後期では以下の項目からなる大規模アンケートを実施。

- 1-1.来年度から予定されている本館校舎の建て替え（その後2000年8月に延期された）を控え、岸高祭、とくに芸能祭をどこで実施するか。
- 1-2.岸高祭前日に実施されていたアトラクションコンサートについて、クラス企画の準備に支障が出ているか、開催する日程を変えるべきか、オールスタンディング・バンドの掛け持ち・クラッカーの使用を許可するべきか。
- 2.だんじり（当時は岸和田浜手では9月14・15日。14日は通常授業、15日は敬老の日で休み、山手では10月）の開催日に学校を休んだことがあるか、授業を他の日に振り替えて休日にするべきか。
- 3.制服に不満があるか、夏服の下に色付きTシャツを着用することを許可すべきか、冬服着用時のセーター着用の自由度を上げるべきか（当時、セーターは上に学生服を着用したうえで着用可）、夏服のスカートの記事を改良してほしいか。

結果は以下の通り。

- 1-1：芸能祭については市民会館44.3%、体育館32.0%となり、屋外や教室の希望は少数にとどまった。また、食品バザーについては、仮設校舎（廊下が狭く運搬が大変）35.1%、新校舎（仮設校舎内の調理室から100m以上離れている）30.5%、屋外（衛生上危険）26.3%となった。物品バザーについては屋内を希望する人が多かった。
- 1-2：準備中に抜け出す人を気にしている人は28.1%にとどまった。建て替え時の代替開催場

所は視聴覚教室が48.8%とトップ。オールスタンディング・バンドの掛け持ち・クラッカーの使用についてはいずれも「認めてほしい」が約4割、「特に必要なし」が約5割だったが、この結果には不参加者によるものが含まれているため、参加者限定で再調査する必要があるとした。

2：6～7割が「休校にすべき」と答えたものの、授業時間が変化しないことなどを強調したうえで再度アンケートを行った結果、振替授業を希望しないとした人が若干多く、自治会としては、振替授業は切には希望せず、行うとするならばアンケートで希望が多かった9月第2土曜日を希望するとした。

3：制服には42.4%の人が不満を持っており、そのうちの64.2%が制服の形を変更してほしいと回答。色Tシャツの着用については「着用したい」と答えた人が19.2%と少なく、見送りとなった。一方セーターの着用については43.9%が着用したいと回答、スカートも一定数が改良を求めているため引き続き検討することとなった。

その後、だんじりについては、1999年度より岸高祭の代休を振り替えることによって休日となった。

その他の活動としては、絵ハガキ募金による障害者団体への寄付を行ったようである。

1999年度

ほとんどの回の生徒議会議事録が残っている最後の年。この頃は生徒議会が機能していたようだ。

4月をもって会計監査基準を改正。

運動委員会は3年生のクラスマッチを7月にも行い、2回にする方針を出したが、職員会議で差し戻しとなり見送りになった。

執行部はアルミ缶回収を実施するが、あまり回収量が多くなかったため、6月末に再度活動を告知した。

セタコンサートをスタンディング・クラッカー禁止で7月19日13：50より、アトコンをスタンディングを一部許可して9月24日14：00より実施。

文化祭

- ・物品バザーの取り扱いがバザー委員会から展示委員会に移行し、部門も「芸能祭」「展示」「食品バザー」「視聴覚」となった。
- ・校舎建て替えの影響で中止していた垂れ幕を旧館南側面の屋上を利用して復活。
- ・展示部門はクラスとクラブの場所を分離する方針だったが、断念した。
- ・時間延長は7時まで。
- ・岸高祭直前号として、各委員会を総務委員会で発行。
- ・プログラムは業者に印刷を依頼した。
- ・討公は講座不足で見送りに。
- ・あいさつ回りのほか、小中学校への巡回を行った。
- ・芸能祭拡大委員会が芸能祭委員と芸能祭クラス委員で構成され、講堂の準備、運営、クラスとの連絡を行う。

- ・芸能祭で上演中の出入りは原則禁止。(1998も)
- ・芸能祭の立ち稽古1時間×1、舞台稽古30or40分×3、リハーサル30分×2 (1998も)
- ・アンケートでは、バザー予備室は廃止すべき、パフォーマンスが4分は短すぎる、バザーの管轄で混乱したという意見が寄せられた。
- ・芸能祭について、次年度から本館が取り壊されることを受け、「講堂がなくなっても芸能祭はなんらかの形で残していくべきだ」と芸能祭委員会は結論づけた。
「三年は劇」という不文律があるが、それに値する価値はあるという意見もあった。

文化祭後

後期ではセーター・祭礼振替授業に関するアンケートを行った。

(1)校内でのセーター姿での行動を認めてほしい。

a)ハイ : 792

b)イイエ : 257

(2)今年は9月14日が休みになったのでその代わりに文化祭後の代休が1日減りました。(去年は文化祭後の休みが2日間でした。) 代わりの授業をするならいつがいいですか？

a)今年と同じ文化祭後の代休を1日にする。 : 347

b)9月の第2土曜に振りかえる。 : 300

c)14日は休みじゃなくてもよい。 : 423、3年生は193で過半数

この結果を受け、セーターの着用について生活指導部と話し合い、もっとより強く、たくさんの意見が必要との意見を受け、執行部+各クラス代表1名+有志による討論会を実施。

その後、各クラスでの討論を行い、次年度へ活動を引き継ぐこととなった。

みんなのボール(自治会による共用のバレーボール)を2つ配備した。自治会新聞によると人気があったようだ。

自治会お願いBOXを設置し、自治会新聞で回答。

ラグビー部ができた。とある。

絵ハガキ募金を実施。

トイレに石けんを設置、管理は保健委員。

会計監査を公募。

クリスマスコンサート(12/24)を実施。

2000年度

主担 : 鈴木(理科) 2000~2002年

補充人員(議会を傍聴できるが、詳細は不明)を1学期末に募集し、1名が参加。改装や上層階工事時に発生するホコリなどにより食堂を使用できない期間が冬の間にあるため、その代替策を問うアンケートを実施した。

文化祭

- ・募集がクラス・クラブ・有志団体同時となった。

- ・プログラムが校内制作になり費用が減少。
- ・8月より校舎工事を行うため、会場は仮設校舎の他に岸和田市民会館を使用。
- ・芸能祭は市民会館を使用するため、舞台見学会・照明サンプルショーを実施。
- ・2年ぶりに討公が実施された。
- ・アトラクションコンサートは行わなかった。
- ・小中学校への案内は中止。

後期

例年通りハガキ募金を行ったほか、インド募金54235円、アルミ缶回収（泉北養護学校の生徒が手でつぶして力を鍛えるのに使用）を実施。

また自治会オネガイBOXを設置した。

クリスマスコンサートは行われなかった。市民会館で開催されることが記載された小冊子が現存するものの、集会委員会の後期総括には「講堂解体のため、クリスマスコンサートを中止」というまいち説明になっていない記述しかなく、詳細は不明である。直前で中止になったのだろうか。

1月10日に旅と鉄道同好会の設立申請あり。

この年の自治会新聞は「執行部」と「四役」、「自治会執行部四役」を器用に使い分けている。

制服について

この時点のルール：3年生は紺、黒、グレー、1・2年生は紺のセーター・ベストを制服の下にのみ着用可。

後期自治会では「紺・黒・茶・白・グレーに限り、セーター及びベストの着用を認める」「来年度入学者からは指定のセーター・ベストを作成し、今の女子の指定のベストをなくす」ことを目標に活動を開始。（のちに茶色は除外）

11月時点のルール：色は全学年「制服系の色」（紺のほか、黒・白も一応可）に変更。

その後、1月11日の職員会議で、1月16日から3学期中をセーター試用期間とし、校内での白・紺・グレー・黒のセーター・ベスト（ハイネック不可、下に着用するブラウスの襟が見えるもの）姿での行動が認められる。

しかし、2003年度の自治会便り後期No.2によると、この時（2001年度後期の可能性もあるが）は制服を着ないで登下校したり、カッターシャツを着ないでセーターを着用するなどマナーを守らない生徒がいたようだ。

2月のアンケートでは、「次シーズンも試行期間と同じ条件で行動することを希望しますか。」という設問には「希望する」という意見が多く、指定のセーターについては、賛成182票、反対408票で反対が多かった。

2001年度

ピアノデュオ同好会が設立された。さらに1月15日の生徒議会ではクラブ化するかどうかが議題となっている。

岸高祭

- ・岸高祭運営委員会の中の小委員会である「展示委員会」「食品バザー委員会」から金券委員会（金券の作成や、金券関連の会計処理を行う）が独立。
- ・展示バザーの部屋割りの担当が準備委員会から展示委員会に移動。
- ・代議員会計委員会が岸高祭に関係。
- ・アトラクションコンサートは場所の関係で実施しなかった。
- ・芸能祭の練習場所としてセミナーハウスも利用。リハーサルが照明音響合わせに変更されたが、翌年には元に戻された。

岸高祭後

- ・来年3月をもって閉館する岸和田市民会館の代替場所についてアンケートをとり、市民会館の代わりに開館する浪切ホールでの開催を希望したものの、職員会議により岸高祭の校内開催が決定。
- ・上記の決定により芸能祭が体育館で行われることを受け、執行部では体育館に仮設舞台を設置したうえで芸能祭を行う方針とし、生徒の賛意を確かめるため再度アンケートを実施、約80%の賛成があった。
- ・アフリカにあるベナンの学校へ文房具を寄付。
- ・「活動の実態に合わせるため」としてフォークソング研究部が軽音楽部に改称。

制服について

この時点の校則：冬、セーターは学生服の中に着用可（試用期間後、セーター姿は校内でも不可に）

男子について、学生服の中にトレーナーを着用するのは不可。

5月・10月に合服としてブラウスの上に指定ベストを着られる。

7月にアンケートを実施。（表現は一部変更、Q3③の分岐は省略）

Q1.今現在の女子の指定ベストは必要か

- ①必要 ②必要でない

Q2.今年度のセーターについて

- ①昨年度の試用期間中のように、セーター姿での校内での行動を認めてほしい
②例年通り防寒着として背広の下に着用したい

Q3.来年度以降のセーターについて

- ①昨年度の試用期間中のように、セーター姿での校内での行動を認めてほしい
②例年通り防寒着として背広の下に着用したい

③指定のセーターを作って校外・校内での着用を認めてほしい

④その他

その結果は、

Q1.②が圧倒的多数、「体温調整ができない」という意見が多かった。

Q2.①が約80%

Q3.①431票(50%)、②139票(16%)、③267票(31%)、④20票(2%)で、①が過半数857

これをもとに、執行部は昨年度同様、セーター姿での校内での行動を認めてもらう方針を決定、

制服をきちんと着ることを啓発した。

その後、2学期にもアンケートを実施。

セーター自由化:453票(49%)、指定セーター:306票(33%)、今の校則でいい:168票(18%)となったが、この後の顛末は不明。

2002年度

- ・自治会BOXを設置、アルミ缶回収を実施。
- ・ペットボトルの自動販売機の設置が食堂から申請されるも、見送りに。

岸高祭

- ・9月上旬の開催となった。また、この後たびたび議論されることになる「岸高祭6月移転案」が修学旅行との兼ね合いとして初めて話題に上がった。
- ・金券は10円×10枚綴りまたは50円×6枚綴りを黎明館1Fで販売。
- ・芸能祭は体育館に業者に委託して仮設舞台を設置。1-2も関わり、好評だった。1F→3Fの一方通行。リハーサル1時間1回のみ。舞台説明会を実施。
- ・屋台形式の非調理バザーが行われるようになった。
- ・討公は時間と場所の都合（体育館は仮設舞台があり実施できない）により実施しなかった。
- ・開会式が風船とクラッカーから花火に変更。
- ・庶務委員会による岸高祭ポスターは制作されなかった。
- ・工事の関係により体育祭の城周駅伝が中止に。
- ・PTAから体育祭の暑さ対策に氷水を準備したいと申し出があり、テント・ウォータータンクのレンタルを行う。

岸高祭後

- ・後期会長の自己紹介には「ベルマークについて努力したい」とあるが詳細は不明。
- ・食堂についてのアンケートを行った。総括には食堂のメニューの見直しが行われており、来年度に引継ぎとなった。
- ・校舎建て替えにより講堂が使えない上に岸和田市民会館が閉館したため、この年のみ合唱コンクールが浪切ホールの大ホールで行われた。

2003年度

主担：糸井（国語） 2003～05年

アルミ缶回収実施の方針を掲げるも、総括には記述なし。厚生委員会はトイレの石けん・トイレトペーパーについての啓発を実施。

6月、執行部が2年6組の生徒に物理科・生物科の授業についてアンケートを実施しているが、詳細は不明。自治会への意見書き込み掲示板があった。

文化祭

- ・調理室で前日から卵を保管できるようにしようとしたが、保健所からの指導により食品バザーの本格調理（フライパンでの加熱など）や卵が禁止となり、加工品の電子レンジ加熱のみに。

- ・ 執行部で垂れ幕、横断幕を作成した。評判も良かったようである。
- ・ 金券は10円×10枚綴りまたは50円×6枚綴りを自治会室で販売。場所が分かりにくいとの意見あり。
- ・ 岸高祭実行委員会の基本方針によると、前年度は中止となっていた文化祭でのポスター募集を復活したと思われる。
- ・ 討公が復活した。2006年度まで継続することとなる。
- ・ 芸能祭の舞台稽古、リハーサルは2回ずつ実施。
- ・ 中庭イベントをチャリティーイベントとして復活。
- ・ 避暑のため、体育祭を6月にするべきとの意見が多くみられた。
- ・ PTA予算24万円でテントをレンタル。
- ・ 体育祭時にPTAが独断でお茶の提供を実施。生徒からは好評、教師からは問題視する声も。

文化祭後

9月25日の職員会議をもって、将棋同好会が部に昇格した。また、硬式テニス同好会・邦楽同好会設立の問い合わせもあった。

合唱コンクール

合唱コンクールが校内で1・2年生別々で45分×6限終了後に行う形式に戻り、さらに有志合唱が廃止されることとなった。これに対して執行部は反発、後者に対しては1・2年から317名の署名を集め、翌年度には復活した。

なお、合唱コンクール直前にインフルエンザが流行したため、2年生の開催日を1週間後（1年生と同じ）にし、40分×6限の後に、2年生と1年生を途中で入れ替える形で行うこととなった。

クラスマッチ

クラスマッチは一昨年まで全学年合わせて5回行っていたが、授業時間確保や講習・保育実習・地学実習などとの兼ね合いにより計2回しか実施できないこととなった。これに対して教師陣は「2年生は修学旅行で4,5日楽しい時を過ごしている」という理由で2年生のクラスマッチを廃止した。

執行部は復活を検討したが、上記の経緯を説明され、復活を断念した。

制服について

夏休み前に女子生徒にアンケートを取った。

Q1.今の制服について不満はありますか…？

Q2.リボンやネクタイをつけたいですか？

Q3.セーター・カーディガンの着用を認めてほしいですか？

結果、Q1とQ3で「はい」が過半数に達したため、セーター・カーディガンの着用に向けて活動を行うこととなった。理由として、「ブレザーだと動きにくい」「温度調節がしにくい」などが挙げられた。なおQ2は「はい」の方が多かったものの、割合が低かったため、保留となった。

その後、9月にはミニ討・公（制服についての意見交換会）を行い、その後はミニ討・公で出た質問を生徒指導部に尋ねるといった活動をした。

2004年度

前期

6月ごろに食堂アンケートを実施。また夏休みに執行部全員で岸和田の障害者施設を訪問し、障害児と一緒に遊ぶといったボランティア活動を行った。

目安箱の設置などを行ったが、あまり意見が来なかったようだ。

運動委員会は基本方針で2年生のクラスマッチの復活を掲げたが、総括には記載がない。

文化祭

- ・物品バザーでの買ってきた飲食物の販売を禁止。(2000～)
- ・金券は100円券(10円×10枚綴り)と300円券(50円×6枚綴り)を500円分のセットにして販売。
- ・バザー部門クラスに2日とも営業するように勧めた結果、ほとんどのクラスが黒字に。
- ・食品バザー部門で非調理クラス(食品の加工を禁止)を復活。
- ・3年生(2階)と1年生(4階)の文化祭時の入れ替えを検討したが、掃除、片付けができないという理由により入れ替えを行わず、2階を3年生のみ使用可能とした。
- ・芸能祭の立ち稽古3回、舞台稽古3回、リハーサル2回。
- ・芸能祭のドア係動員をやめ、先生に
- ・執行部は8m×8mの垂れ幕を制作。
- ・テントをレンタル。
- ・自治会予算で冷茶、冷水のウォータークーラーを設置。
- ・ゴミ置き場はプール横。(2002は第一グラウンド部室前)
- ・体育祭が日曜日となったため、一般客の入場を禁止。
- ・体育祭で、門が1つになった(これまでは入場門・退場門の2つ)
- ・岸高祭後の授業日(9/13)の朝に清掃の時間を設定。
- ・スウェーデンリレーは各学年3レースは時間がかかりすぎる
- ・棒倒しは危険
- ・体育祭を6月に変更することについて教員アンケートで意見を募った結果、賛成意見もあったが、分離するとかえって勉強に集中できなくなるという意見もあった。

文化祭後

新潟中越地震を受け、募金を実施。制服アンケートを計画していたが、廃案となった。

合唱コンクールに指揮者賞が新設された。

この年の後期の執行部の総括(活動のまとめ)には「最近、自治会執行部4役のみの活動となっているところがある」と書かれており、活動が自治会執行委員会ではなく4役中心となっていることが伺える。

また自治会指導部の会議で、「代議員は投票で決めることになっているが、実際は投票で決めていない等、現状と生徒手帳の内容が一致していない。」という意見があがっており、この時点で生徒手帳に記載されている自治会会則と現状が一致していなかったことがわかる。

2005年度

文化祭の統一テーマは全校投票の結果一旦は「母さん、今年の岸高祭すごいらしいよ！」に決定するも、教職員への公表が遅れた結果8月末になって問題が浮上。臨時生徒議会で議論した結果、2位の「僕たちの色 一人一人 描き出そう 岸高彩」を繰り上げ採用することとなった。文化祭では受付係が新設され、フォークダンスに花火が使用された。またSFC（クラス旗コンクール）が開始された。

その他、目安箱をわかりやすい場所に配置し、食堂メニューの満足度調査やコロッケやポテトなどのサイドメニューを増やすといった活動、パキスタン地震募金などを行った。

また合唱コンクールの賞の名称が金銀銅になり（少なくとも1999～04は最優秀、優秀、敢闘）ピアノ奏者賞が追加、（2008も同じ形式、）

硬式テニス同好会の設立申請があった。

2006年度

主担：三好（国語） 2006・07年

体育祭が6月開催に変更され、おおむね好評だった。

後期では、教室内での上着無しのカーディガン・セーター（黒・紺）の着用を要望し、「今ある校則を守り、きちんと制服を着る」ことの呼びかけを行った。その結果、2・3月を試用期間として認められた。

また、韓国のラクセン高校が岸高を訪問するのにあたって、自治会が挨拶を行っている。

学力向上などのため、来年度から文化祭を6月に開催することが決定。教職員の間ではかなりの賛否両論であった。

（自治会活動の主体である生徒の意見が完全に無視されている、クラスづくりができてから準備ができる方が良い、文化祭を通じてクラス作りをすればよい、夏休みからは受験体制に入るべき、ひたすら生徒を勉強に追い込むことで成果があるとは思えない、（1学期開催だと）大変になりそうだが適切なアドバイスをすれば岸高生はしっかりやる、夏休みを勉強する期間にすることが大切、など）

討公が2007年1月11日の大綱案で廃止された。一方、岸高祭運営委員会についても廃止の声があったが、これは存続された。

また、文化祭の職員アンケートで、代議員の文化委員とHRの文化委員のネーミングについて、二重構造ではないかとの指摘があった。これに対して自治会指導部はネーミングをわかりやすくする必要があるかもしれないと回答している。

2007年度

- ・生徒の意見を聞くための「目安箱」が「岸高生の主張」となった。
- ・学級委員名簿が電子化された。

文化祭

- ・SFCは3年生自由参加。
- ・66860円でデジカメを購入。

- ・打ち上げ禁止。
- ・「セーブ・ザ・チルドレン・文化祭キャンペーン2007」にも参加し、準グランプリとなった。
- ・統一テーマは「世界中に愛を届けよう」という思いから（岸高祭ではユニセフ募金活動が行われていた）「ありったけの愛」という言葉を入れて募集し、投票の結果「ありったけの愛scream」に決まったが、screamという単語（「＜痛み・恐怖・興奮などで＞甲高い声で叫ぶ」など）の意味がテーマの趣旨にふさわしくないという指摘があり、6月7日にテーマ変更のお知らせがされた。その後再審議の結果、「♥ ありったけの愛をありったけ ♥」に決定した。
- ・また、偽の金券が発見されたり（翌年からデザイン変更）、芸能祭で痴漢事件が発生したり（翌年は整理券制に、翌々年から女性専用コーナー導入のうえで自由入場に戻る）、なぜかかなり波乱に満ちた年であった。

文化祭後

「皆さんが暮らしやすい岸高」を目指してアンケートを取り、セーター・カーディガン類の着用について、生徒の要望の実現のために、生徒のマナーの啓発に取り組んだ。

少林寺拳法同好会の設立申請が2007/7/25にあり、認められた。

財政状況の悪化により自治会費（当時1年につき1700円）の値上げが検討されたが、クラブ後援会費として年800円集めていること、大阪府の基準により生徒会・部活動後援会費は合計で年2500円までしか徴収できないことにより廃案に。

厚生委員会の取り組みにより食堂のパン・サンドイッチの種類が増加。

庶務委員会は芸能祭をビデオで記録。クラスアピールがスタート。

2008年度

主担：近藤（数学）2008年～

前期

- ・前期会計に2人が立候補したため、落選した1人を文書係に任命して対応。
- ・自治会役員を代議員から選出しその代議員の代わりを選出したとき、文化祭が6月になったため代わりの代議員にとってはつらいという理由により、会則第17条を改正し代議員と自治会役員の兼任を可能にすることで、代わりの代議員を選出しなくてもよいこととした。
- ・文化祭の動画作成のため、パソコン（2018年6月現在使用されている）1台を購入。

文化祭

- ・芸能祭は原則3年、調理は原則2年のみが行うことになった。
- ・食品バザーの非調理部門が展示部門に吸収された。
- ・視聴覚室を使わない展示（映像等）部門が追加された。
- ・文化祭に「校長推薦枠」を導入。
- ・前年度の痴漢事件を受け、芸能祭がブラスバンド部を除き整理券制（開演の20分前に券を配布）になり、保護者優先席が設置された。
- ・文化祭前の4限授業が前年の8日から5日に減少。
- ・SFCはこの年は生徒の投票は禁止。活動報告の提出がまだあった。

文化祭後

文化祭後は冷房の運用について取り組んだ。また指導部では翌年に向けての文化祭マニュアルが作成された。

後期ではカーディガン問題について取り組むが、今年度中には解決せず、翌年に持ち越しとなった。

12月1日に少林寺拳法同好会が部への昇格を申請し、翌年1月7日付での昇格を認められた。クラスマッチが、1年生12月開催・3年生7月開催の形から、1・2年生12月開催の形に改められることが決定（再来年度から、来年度は経過措置）。

2009年度

主顧問：不明

この年に分掌（学内の仕事を分担する組織で、教員が所属している。前年までは7つあった。）が再編され、自治会指導部と生徒指導部、保健体育部が合併して「学校生活部」となった。

文化祭（新型インフルエンザの影響で1週間開催延期）

・文化祭前の4限授業が3日に減らされる予定だったが、食品バザーや芸能祭担当の教員の反対により取り消された。

- ・巡視係・ゴミ処理責任者などが各学級委員に委嘱されるようになった。
- ・「展示」部門の名称が「制作・イベント・展示」となった。
- ・SFCの発表と1・2年生の宣伝パフォーマンスが木曜日となった。
- ・SFCが全クラス強制参加となった。
- ・芸能祭に関して、前年の整理券制度を廃止し、代替として女性専用コーナーの設置、定員制（保護者優先席116+座席324+立ち見150）、途中入退場禁止、ゆうかりホールでのライブ放映などの施策を実施した。
- ・チャリティーイベントあり。

文化祭後

前年度後期の執行部を中心にカーディガン問題に引き続き取り組み、カーディガンについての歴史をまとめる、代議員や生徒に意見を調査するなどした結果、7/24に学校内で黒・紺のカーディガンを着用することが認められた。（10/1までは試用期間、10/2から正式実施）

その後、食堂に関するアンケートとマナーに関するアンケートを取った。

2010年度

主顧問：不明

この年度から2013年度にかけては自治会にほとんど資料がないため、記述できる内容がとても少なくなる。

- ・SFCは全クラス強制参加、生徒投票あり
- ・色塗りの場所は教室が東館東側外。115*300cm（端縫い後）
- ・クラスアピールの投票があり、1・2年生は2分まで。
- ・演技講習会が開始。2014年度も

後期では昨年までのカーディガン活動とカーディガン登下校の禁止を周知。

2011年度

主顧問：徳野（社会）？ 交代した時期は不明。

- ・自治会室が2F生徒相談室の横から3F西選択教室の向かいに移転。跡地を隣の社会科教室と合わせ「多目的教室」とした。
- ・鉄道研究同好会と数学探究同好会が設立された。
- ・芸能祭について、2回あったリハーサル練習のうち1回を3年生の他クラスが観覧できる『プレ公演』に振り替えた。アンケートで好評だったため、次年度以降も継続している。
- ・CDによるサンプリング。
- ・マスコットとあるが、詳細は不明
- ・9月12日にアンケートを実施したと思われる。
- ・文化祭後に多目的ホールの芸能祭関連の設備（ワイヤレスマイク・サンプラー？）を更新。

2012年度

主顧問：徳野（社会）

文化祭

- ・部門決定については、芸能祭は原則3年のみ、調理バザーは内容やコンセプトの審査で決定（同レベルの場合2年生優先）
- ・従来の音響・照明・装置講習会に加え、照明講習会（照明係に機器を操作してもらう）が追加。

その他

- ・鉄道研究同好会が8月27日に部への昇格を申請した。

2013年度

主顧問：徳野（社会）

- ・SFCの大賞がなくなり、学年ごとの順位のみを決めることになった。
- ・開会イベントあり（15：00～、2団体）
- ・合唱コンクールは2012年度に加え、校長先生特別賞があった。（特別賞制度の有無は不明）
- ・カーディガンでの登下校が話題に上がり、今までの活動の歴史をまとめた書類が作成され（ただし一部誤りがある）、生活指導係と執行部の話し合いが始まった。

2014年度

- ・目安箱を設置。
- ・食品バザーの参加が2年生のみになった。
- ・教室にプロジェクターとスクリーンが設置されたため、文化祭の映像作品の上映場所が視聴覚教室ではなく自教室となった。これにより、視聴覚教室を利用する団体は軽音楽部のみとなった？
- ・体育祭について、各団の団旗を製作。

- ・自治会新聞には「綱引きのルールが厳しくなった」とあるが、詳細は不明。
- ・体育祭後のフォークダンスの前に練習時間を設定した。

指定カーディガンについて

2014年5月時点での規則：黒か紺色の物を、校内でのみ上着無しで着用可。

2013年10月の資料（顧問同士のための資料？）でカーディガン着用についての歴史がまとめられ、2014年3月の自治会新聞でカーディガンでの登下校について話し合いをしたとある。

その後、5月の学校生活部会資料にも取り上げられた。

3学期、指定カーディガンの導入を目指し、岸高の制服の歴史についてプリントを配布し、1・2年生へアンケートを取った。

Q1.制服は意味があると思いますか？

Q2.服装・カーディガンについての現行ルールをどう思いますか？

Q3.指定カーディガンは賛成ですか？

その結果、Q1には「意味がある」と75%が答え、Q2には「変えてほしい」と56%が答えた。しかし指定カーディガンの導入については僅差で反対多数だったため見送りとなった。

2015年度

文化祭

- ・文化祭の正門アーチが執行部と美術部の合同で製作された。
- ・SFCオープンと1・2年生クラスアピール（昨年まで木曜日に実施）が金曜日の開会式に統合された。
- ・閉会イベントの参加団体を1団体とした。
- ・ゆうかりホールでの芸能祭の上映を廃止。

文化祭後

- ・リビング同好会がクラブへ昇格（10月26日のクラブ代表者会議で議題に上がり、この年度中に承認されたと思われる）。
- ・環境保護・校内美化の一環として古紙回収活動がスタート。
- ・自治会委員会や学級委員の再編と、それに伴い自治会会則の一部修正が行われた。
- ・カーディガンについては制服の在り方について議論したものの「まずは現行のルールを守ってもらわなければならない」（執行部コメント）として来年に持ち越された。

2016年度

主担：藤原（国語） 不明～2017年

今年度より、学校生活部が生活指導部と自治会部に再分離され、分掌の数は5つとなった。

前期では文化祭・体育祭の改善や、名簿の男女混合化、心の性別に見合った制服づくりに取り組み、男女混合名簿については生徒アンケートでの賛成多数を得て、翌年度からの使用が決定した。体育祭については応援パフォーマンスの人数増加や、障害物競走に借り物・飴食いを追加するなどした（ただし障害物競走については危険だという意見が多く、翌年度は従来の形式に戻った）。

Xサミット（文理学科設置10校の生徒会による意見交換会、年2回、夏と冬に開催）が天王寺高校の発案により開始された。

後期ではカーディガン登校の実現に取り組み、翌年度4月25日からの指定カーディガンによる登校が実現した。また、前期から引き続きLGBTQの周知にも取り組み、制服の性差による問題について、意見交換会を実施した。

その他、あいさつ運動・マナー向上運動を庶務委員会と協力して行ったほか、目安箱を設置した。

また2015年度末と2016年度で3840kg（回収業者の明細より算出、自治会新聞の3490kgは誤り）の古紙を回収し、30660円を得た。これにより、翌年の文化祭クラス補助金が1000円ずつ増額された。

2017年度

前期

- ・前年度から継続してあいさつ運動、古紙回収活動を行った。
- ・執行部の活動としては文化祭や体育祭の運営が中心で、特異なものは少なかった。
- ・執行部員の発案で、九州北部豪雨災害募金を7月19日、20日の朝に実施。
- ・文化祭の金券が50円券と10円券の混合販売から変更され、20円券のみとなった。
- ・当年度より体育祭のスポーツドリンク（PTA予算より）が1人1本に減り、その代わりにメジャーブランドのものとなった。

後期

- ・来年度の文化祭への準備として、アンケートで出た意見の反映、パンフレットのレイアウト変更を行った。また、新入生向けの文化祭紹介動画が2014年度に作成された古いものであったため、内容を更新・改良した。
- ・会則を一部改正した。2015年改正で残存していた「会計委員」の一部を「庶務委員」に置換、第10条第2項の会計委員会委員長の規定を削除、別項クラブ設置規定に第6項を追加、その他一部の表現変更が行われている。
- ・目安箱の意見を踏まえ、視聴覚室北側の軒下に自転車用空気入れを設置した。
- ・目安箱に「食堂の値段を下げしてほしい」という意見があったため食堂インタビューを行い、「お弁当率が高いため値下げは厳しい」「3年生になって初めて来る子もいる」という返答を踏まえて食堂の利用方法を自治会新聞で特集した。
- ・Twitter（インターネットサービス的一种）による情報発信を検討し、学校の公認は得られなかったものの、学校非公式という形での情報発信は許可された。2018年5月10日より翌年度の執行部による情報発信が開始されたが、同年6月17日を最後に投稿が無く、短期間で終了した形となった。

その他

- ・男女の人数のクラス差が激しいとして、少なくとも1997年以降で初めて男女共同でのクラスマッチが行われた。（ドッジボール、前半は女子、後半は男子）
- ・クイズ研究同好会が設立された。（2018/2/13設立希望届、2/28クラブ代表者会議）

- ・この一年で2300kgの古紙を集め、18400円を得た。

2018年度

主担：八倉（体育） 2018年

執行部・委員会の活動

- ・自治会室にB4印刷が可能なプリンター「LP-S6160」を導入。（購入は前年度末）
- ・昨年度までは古紙回収活動を自治会四役のみで行っていたが、拘束時間が長いため四役にとって大きな負担となっていた。そこで今年度からは庶務委員会が古紙回収活動に加わるようになった。
- ・目安箱の意見より、視聴覚室北軒下の空気入れ（前年度に設置）の隣に、傘を忘れた人のための置き傘「善意の傘」を新設。
- ・後期では「ユニセフ世界寺子屋運動」に協力し、書き損じはがきや図書カード、切手などの寄付運動を実施。
- ・PTAと執行部の意見交換会が開かれた。

岸高祭

- ・SFCの設置場所が変更され、全学年中庭の北側となった。
- ・体育祭開会式前の行進を廃止。
- ・体育祭の一部競技の実施時に、応援パフォーマンスの団長らが考えた紹介文を放送。
- ・後夜祭のキャンプファイヤーを廃止し、様式を変更。

その他

- ・インフルエンザの影響を避けるため、合唱コンクールが11月開催となった。
- ・クラブ紹介冊子のクラブの掲載順が前年のくじ引きによる決定からクラブ番号順に変更（紹介順は不明）

クロスサミット（GLHS10校自治会・生徒会サミット）

副題の通り、GLHSに指定され文理学科が設置されている府立高校10校の生徒会・自治会役員が集まり意見交換を行う催し。

2016年夏に「文理学科設置10校自治会交流会」として天王寺高校の発案で開始され、その後年二回、夏と冬に開催されている。

なお、正式名称としては「GLHS10校 自治会・生徒会 サミット 2017 夏」（第3回）、「GLHS10校 自治会・生徒会サミット 2017冬」（第4回）などとなっており、一定でない。

第1回：天王寺高校：2016年8月18日(木)

第2回：三国丘高校：2016年

第3回：大手前高校（議長は岸和田高校）：2017年9月16日(土)

第4回：生野高校：2017年12月26日(火)

第5回：北野高校：2018年8月20日(月)

第6回：天王寺高校：2018年12月22日(土)

第7回：高津高校：2019年8月19日(月)（ツイッター情報による）

第8回：大手前高校：2020年1月24日(土)（ツイッター情報による）

募金史

桜祭りや文化祭では、自治会執行部と庶務委員会により、在校生・来客に慈善事業団体への寄付を募っている。それ以外にも、災害が起きた時に緊急で募金を行うこともある。

1998年文化祭：バザーの収益80217円のうち、4万円を岸和田障害者共同作業所、20217円を日本赤十字協会にワクチン代として寄付。

1998年12月：絵ハガキ募金として23600円。

1999年文化祭：バザーの収益124376円のうち、3万円を岸和田障害者共同作業所、3万円をトルコ・台湾地震の義援金として寄付。

1999年10月13日：トルコ・台湾地震救援基金への募金（日本赤十字社）89138円

1999年11月：絵ハガキ募金として52400円。

2000・01年：絵ハガキ募金を実施。寄付金額は不明。

2001年2月16・17日：インド地震の募金54235円をユニセフ（「おはよう朝日です」の窓口から変更）に寄付。

2004年文化祭：ユニセフへの募金5500円を集めた。

2004年11月：新潟中越地震の募金で60093円を集めた。

2005年文化祭：中庭チャリティーイベントのユニセフ募金により13550円(振込用紙より)を集めた。（自治会ニュースの12304円・岸高祭総務委員会の総括13544円はおそらく誤り）

2005年11月：パキスタン地震のユニセフ募金に29456円。

2006年文化祭：ユニセフ募金（中庭イベントで）20632円または20552円

2007年文化祭：セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンに中庭チャリティーイベントから45038円

2009年文化祭：日本ユニセフ募金に寄付。

2011年桜祭り：80450円を日本赤十字社に東日本大震災の義援金として寄付。

2011年文化祭：64611円を毎日新聞大阪社会事業団に毎日希望奨学金として寄付。

2012年桜祭り：21131円をあしなが育英会に東日本大震災の遺児への支援として寄付。

2012年文化祭：29410円を寄付（寄付先は2012年桜祭りと同じ）。

2013年桜祭り：30046円を寄付（寄付先は2012年桜祭りと同じ）。

2013年文化祭：23860円を集め、日本ユニセフ協会とあしなが育英会に半額ずつ寄付。

2014年桜祭り：12427円を寄付（寄付先は2012年桜祭りと同じ）。

2014年文化祭：11694円（自治会新聞）または12753円（実際の振込額？）を東日本大震災（あしなが育英会）に募金。

2015年文化祭：35763円をあしなが育英会に東日本大震災の遺児への支援として寄付。

2016年4月27・28日：熊本地震への募金を決定、岸和田市内の他の高校にも呼びかけ、岸高では58382円、岸和田市立産業高校では99670円、久米田では71614円を集めた。

2017年桜祭り：23854円を集め、あしなが育英会（東日本大震災遺児の支援）と日本赤十字（熊本地震）に半額ずつ寄付。

2017年7月中旬：九州大雨災害義援金として10775円を寄付。

2018年桜祭り：13028円（寄付先は2017年桜祭りと同じ）。

2018年文化祭：42694円（寄付先は2017年桜祭りと同じ）。

自治会予算

1996年はクラブ予算は200万円だった。97年は生徒数の減少と100周年対策費により、190万円となった。また1997年4月1日より消費税が5%に引き上げられたからか、自治会費も1600円から1700円に引き上げられた。

2003年は総予算200万、ただし岸高新聞発行費12万を引いた。また予備費12万を引き、176万、決算では168万。執行部費は8万。

2004年は予備費7万、181万。

役員選挙で信任投票以外が行われた事例（2008年度～2018年度）

2008年前期、会計の補欠選挙に2人立候補、敗者は文書係に

2011年前期、会長に3人立候補、敗者は文書係に

2013年後期、会長に3人立候補

2015年後期、会長に2人、副会長に2人立候補

不明：2008-2、2009-2、2010-1

それ以外の任期は各役職につき1名の立候補がある、いわゆる信任投票となっている。